

平成29（2017）年度活動方針

1. 基本課題

一人ひとりの人権意識を高め、あらゆる差別のない人権のまちづくりの実現をめざします。他者の痛みや感情を共感的に受容できるための創造力や感受性を培い、それが、さまざまな場面や状況下で具体的な態度や行動に現れるような環境づくりに努めます。

2. 取り組みの方針

人権を基盤にした地域社会づくりを推進する中で、人権問題に関する各種の学習や啓発活動を行ない、住民の人権意識を高め「人権のまちづくり」を進めます。

今年度も、桜地区人権・同和教育推進協議会では三連合（桜台、広域桜花台、桜連合）地区での地区懇談会や「さくら人権大会」を通して、学校教育の中での人権学習と連携して、住民への人権啓発を進め、桜地区住民への人権教育の推進を図っていきたいと考えています。

3. 具体的な活動内容

〈1〉「さくら人権大会」を開催します

これまで数年にわたり、地域住民に対して各種の人権問題について、住民参加による意見発表や講演により、住民の人権意識を高める活動に取り組んでまいりました。今年度も、当桜地区ではなくてはならない大会となりました「さくら人権大会」を開催し、児童生徒の人権問題に関する学習発表や人権講演会などを中心とした内容で開催します。

〈2〉「地区別懇談会」を開催します

（記録の上では）平成9（1997）年、初めて実施されています。19年ほど前から地区懇談会に対する期待は高く、活発な意見が出されたと同っています。本年、平成29年度も3会場で開催させて頂いて、おひとりお一人にとって貴重な体験となりますよう工夫するとともに人権感覚を基盤においたコミュニケーションの充実を図ってまいります。

〈3〉研修活動に参加いたします。

「四同研大会」や第51回三重県人権・同和研究大会（桑名市、いなべ市、）10/14～15、開催されますので、大会に参加し、交流を深めたいと思います

じんけんフェスタ 2017 12/9～10に積極的に参加いたします。

4) 29年度は西部ブロック（神前、川島、三重、県、桜）人権・同和教育推進連絡協議会の運営を担当することとなりました、昨秋から準備を進めて参りました、医師・桑山紀彦氏による「地球のステージ」公演を通して人は人によって支えられ、生きる力を感じ明るくたくましく生きる姿を桑山さんの語り、映像で今まで見たことのないステージをみなさまにお届けいたします。前もってみなさまにご協力をお願いいたします、どうかよろしく願いいたします。

〈4〉人権・同和教育推進協議会の今後

「講演会」「地区別懇談会」「さくら人権大会」は多くの方に支えられ期待も大きくなってまいりましたが、負担の掛からない、日常的な活動が求められています。人権課題と時代のニーズを研究する中でチームづくりを進め、繋がっていくことをめざしたいと思います。

NHKキャスター、中野さんのお言葉にございました「正しい知識を得ること」はとても大切なことで、不確かな人権課題について文書におけるパス或いはラリーで研究する事が出来ればと考えています（6月～11月）